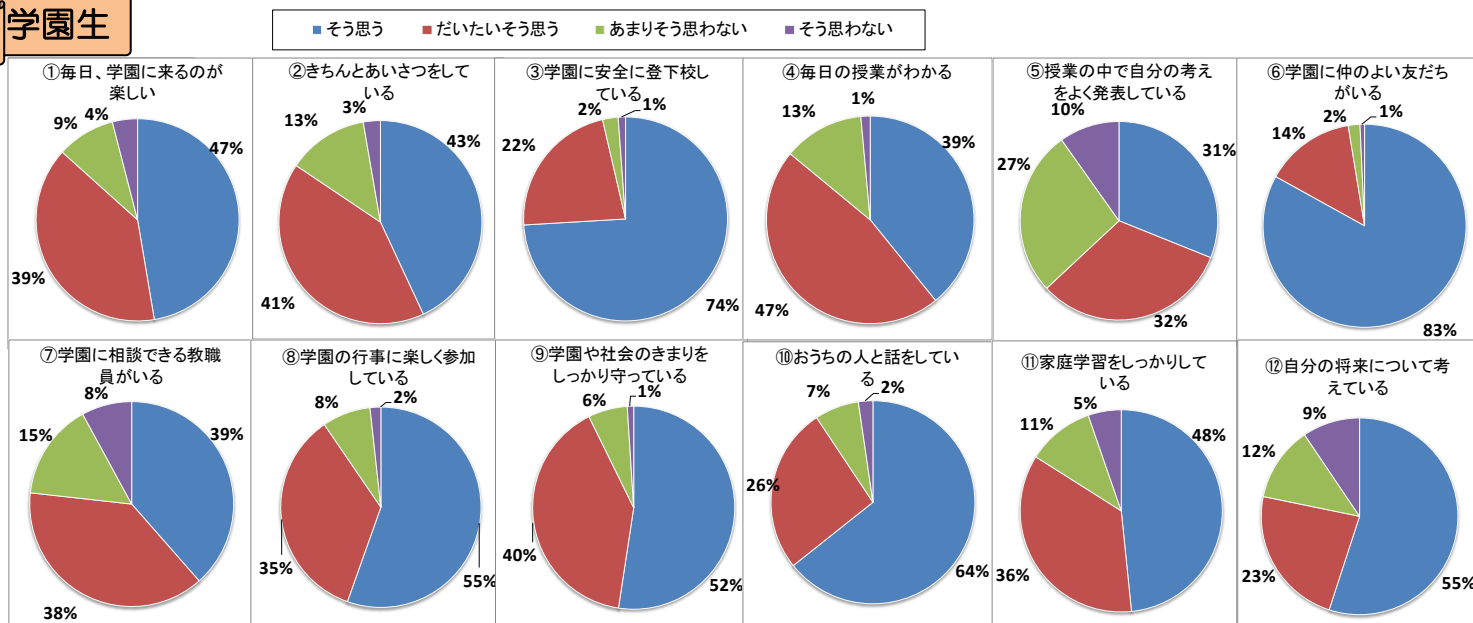


後期学園評価アンケート結果

H27.1月実施

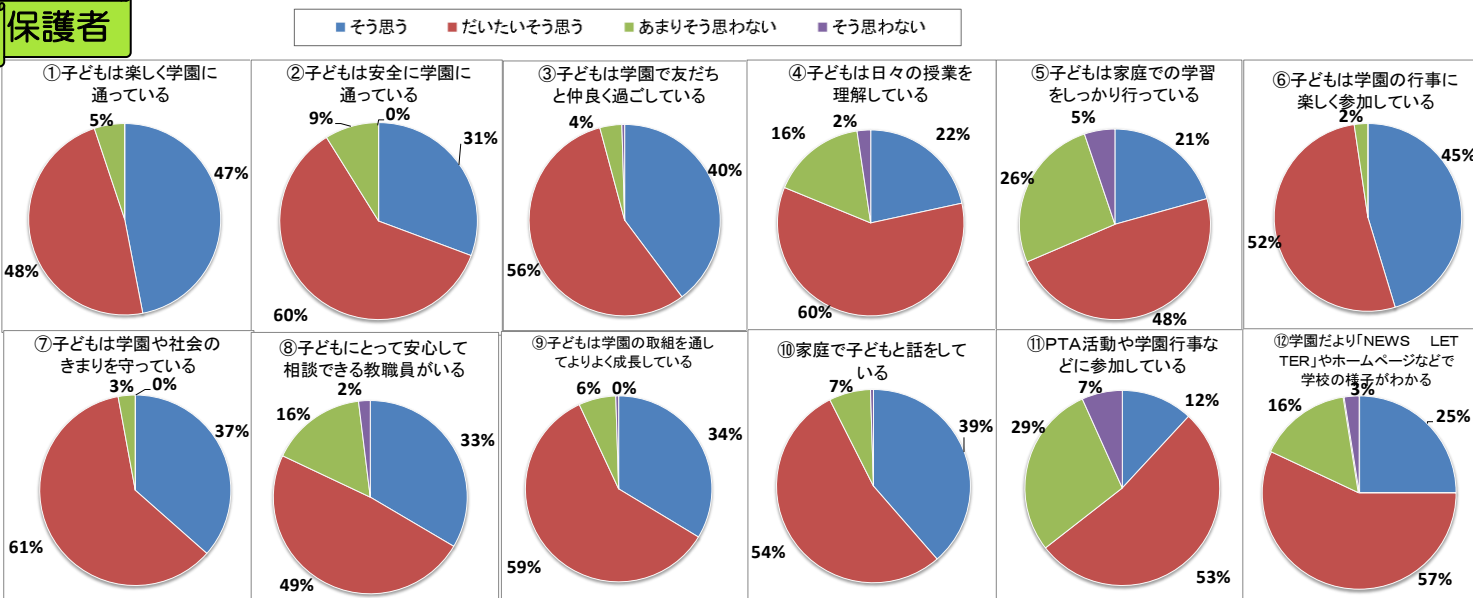
保護者の皆様には、ご多用の中、学園評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回、回収させていただいたアンケート用紙は546枚で、回収率は約73%でした。前期と同じ内容についてのアンケートを実施したなかで、前回同様、おおむね肯定的（そう思う、だいたいそう思う）な回答が多かったのですが、いくつか課題も明らかになりました。ここでは、学園生と保護者のアンケート結果についてお知らせします。

学園生



今回は今年度2回目のアンケートということで、後期の数値を前期のものと比較してみました。学園生のアンケートでは前期に比べてすべての項目において「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた肯定的な回答が増えています。その中で目立ったのは⑦の「相談できる教職員がいる」という項目で、5ポイント上昇していました。一方、相対的に肯定的な回答が少なかった項目は63%だった⑤の項目でした。この「授業中の発表」に関しては、教職員のアンケートでも74.5%と最も低い項目となっていました。昨年度のご報告でも、肯定的な回答率が低い項目として取り上げていたものでもあり、喫緊の課題と認識する必要があります。今後、授業形態の見直しや発問の工夫などを通して、あらゆる場面で言語活動の充実を図り、学園生の表現力の向上を目指していきます。

保護者



適合度の前期との比較では全12項目中8項目で肯定的な回答が増え、その中で目立ったものは7.4%増えた⑧の「安心して相談できる教職員がいる」でした。逆に肯定的な回答が減った項目は4項目で、中でも1.7%減の②「安全に登下校」についてが最も目立ち、他は1%に満たないものでした。相対的に肯定的な回答が少なかった項目は64.4%の⑪「PTA活動や学校行事への参加」ですが、これについては重要度でも肯定的な回答が85.2%と全項目中で最も少ない項目でした。学園と家庭の連携があってこそ、お子達は健やかに成長します。学園教育への積極的なご参画をお願いいたします。一方、⑤の「家庭での学習」の項目でも肯定的な回答が68.5%と少なく、これは教職員アンケートでも低さが目立つ項目でした。これは昨年度からの課題でもあり、学園生のさらなる学力の向上のため、課題の精選や確かな点検、学習時間の明確な提示などを通して、継続して取り組んでいきたいと思っております。

※自由記述欄では、「登下校の安全」、「学校行事」、「学園ホームページ」、「部活動」についてなど、いろいろなお意見をいただきました。全てのご要望にお応えすることはできませんが、担当の方で検討し、可能な部分にはご意見を反映していきたいと思っております。